

# アバスチン®+ロンサーフ®

## ◆ 治療に使用する点滴・点滴時間

- 1日目：25分
- 15日目：10分

使用する点滴	外観	時間	1日目	15日目
吐き気止め アロキシ®		15分	●	なし
アバスチン® 5 mg/kg		10分	●	●

## ◆ 内服薬

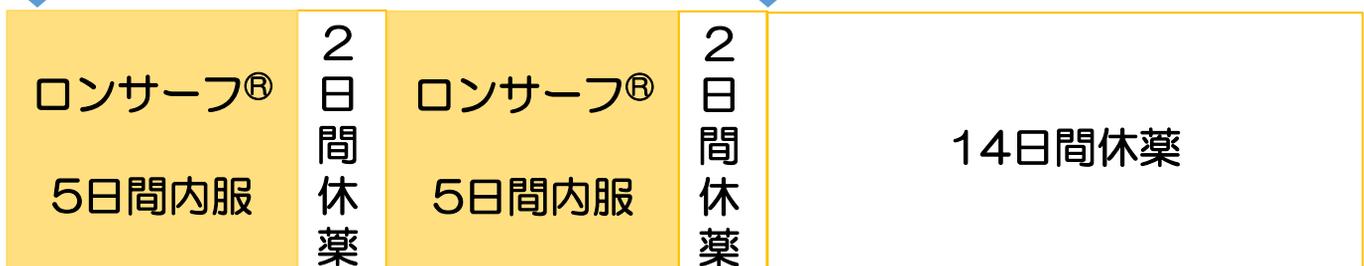
お薬の名前	飲み方、スケジュール
ロンサーフ®配合T錠  15mg	1回 35 mg/m <sup>2</sup> 1日2回 朝・夕食後 5日間内服、2日間休薬を2回繰り返し、 その後2週間休薬する
 20mg	

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

## ◆ スケジュール

28日間を1サイクルとして、以下の治療を繰り返します。

アバスチン®：1・15日目に点滴



1サイクル：28日間

## ◆ 飲むときの注意

- 医師より特別に指示がなければ、1日目の夕分から開始します。  
薬局から薬が受け取れない場合などは、2日目の朝分から開始します。
- この薬は、患者さんの疾患、体の大きさによって投与量が決められています。処方された**用法用量、スケジュールを必ず守ってください**。

## ◆ 飲み忘れたとき

- **飲み忘れたときは、その分は飲まないでください**。  
次のタイミングから通常のスケジュールどおりに再開し、決して2回分を飲まないでください。
- 空腹時に飲むと、この薬の効果が強くなって副作用のリスクが上がってしまうため、**食後に内服してください**。

## ◆ 過剰に飲んでしまったとき、間違えたとき

- 多く飲んでしまった、スケジュールを間違えた場合などは、すぐに病院へご連絡ください。

## ◆ 治療日誌について

- 副作用の症状を把握したり飲み忘れがないように、治療日誌をつけましょう。

## ◆ 薬の名前について

- このパンフレットには、当院で使用しているお薬の名前が書かれています。調剤薬局で受け取ったお薬の名前と異なる場合があるため、お薬の名前を薬局でご確認ください。

## ◆ 主な副作用

### 白血球減少

白血球が減少すると免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなります。

治療開始1～2週間後に白血球の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

うがい・手洗いなどの感染予防を心がけましょう。

37.5度を超える発熱時、医師からあらかじめ処方された薬がない方は、病院へご連絡ください。

### 赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2～4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血することがあります。

### 血小板減少

血液が固まりにくくなり、歯茎からの出血や鼻血が出やすくなります。治療開始1～2週間後に血小板の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

転倒やケガに注意してください。

必要に応じて、輸血することがあります。

## 【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

## ◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

### 過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

### 血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

## ◆ 点滴終了後～1週間頃

### 吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。

それでも症状がある場合は、吐き気止めを追加で使用することがあります。水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。

### 便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはることがあります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、下剤を使用します。

### 倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

## ◆ 1～2週間頃

### 下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

**強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。**

### 口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

**歯みがきやうがい**で口の中を清潔に保ち、**乾燥を防ぐことが大切**です。また**うがい薬や塗り薬**を使用することがあります。

**がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛み**がある場合は、病院へご連絡ください。

## ◆ 蓄積性の副作用

### 色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

### 味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出る場合があります。

## ◆ 検査でわかる副作用

### 高血圧

血圧が高くなることがあるため、自宅で定期的に血圧を測定し記録し、診察時に医師に記録を見せましょう。

血圧を下げる薬を使用することがあります。

自宅での血圧が180/120mmHgを超える、頭痛や胸の痛みなどの他の症状を伴うときは、病院へご連絡ください。

### タンパク尿

尿にタンパクが出ることもあるため、定期的な尿検査を行います。

## ● その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

### 間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

### 肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

### 血栓塞栓症（血のかたまりが脳、心臓、肺などの血管につまる）

手足に力が入らない、ろれつが回らない、めまい、しめつ

けられるような胸痛、息苦しい、片方の足に急激な痛みや腫れがある

### 出血

青あざができる、鼻血、歯茎から出血しやすいなどの症状が出ることがあります。

血痰がある、下血がある場合は病院へ連絡してください。

### 消化管穿孔

今までに経験のないひどい腹痛

## ◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない  
下痢が止まらない  
37.5℃以上の発熱が続いている  
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00  
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター  
ナースステーション

夜間帯・休診日  
など左記以外の時間

各診療科の当直医

## ◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の  
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、  
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師